LIXIL
INAX

ユニットバスルーム
BL認定品

取扱説明書

対象品番

Aタイプ

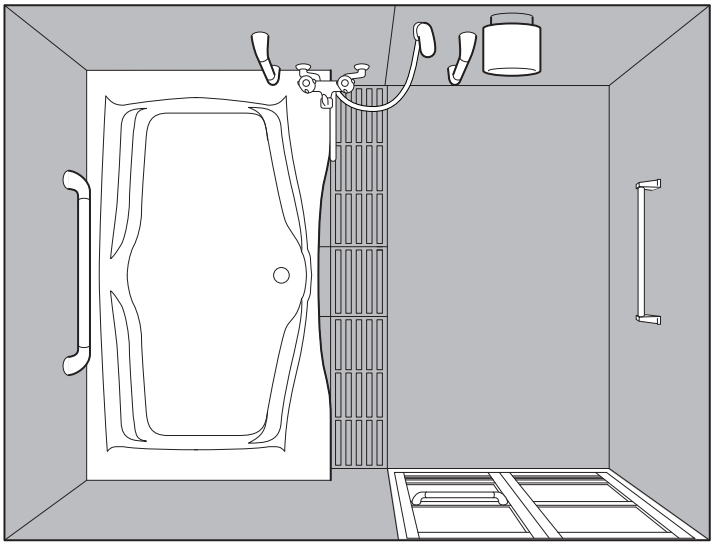
長寿社会対応型

BY-1418TBK/BL,SBK/BL
1416 〃
1317 〃
1218 〃
1216 〃

一般型

BY-1418TB/BL,SB/BL
1416 〃
1317 〃
1218 〃
1216 〃

BP-1216,1116T/BL,S/BL



この度は当社商品をお買い求めいただき
誠にありがとうございました。

このユニットバスルームを美しく、また快適にご愛用いただくために、ご使用前にはこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。

この取扱説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承願います。

※ 品番シールは浴室ドア上部に貼ってあります。
※ 本取扱説明書と水栓金具、機器類の取扱説明書は、必要なときにすぐ取り出せるところにまとめて保管してください。
※ 転居される場合、次に入居される方に、この取扱説明書をお渡しください。
※ 換気扇、バランス釜、浴槽、水栓金具は、当社商品以外のものが取り付けられている場合があります。当社商品以外のものにつきましては、それぞれに付属の取扱説明書をご一読ください。

この取扱説明書では、安全に使用していただくために、次の表示マークや絵表示を使用して注意事項を説明しています。
ご使用する前にこの表示マークや絵表示をご理解いただき、事故のないように正しくご使用ください。

表示マークおよび絵表示の説明

◎表示マークについて

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示マークで区分し、説明しています。

⚠警告 …… この表示の欄は「死亡または重傷等を負う可能性が想定される」内容です。

⚠注意 …… この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

◎絵表示について

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

…… この絵表示は気を付けていただきたい「注意喚起」の内容です。

…… この絵表示はしてはいけない「禁止」の内容です。

…… この絵表示は分解してはいけない「禁止」の内容です。

…… この絵表示は指示した場所に触れてはいけない「禁止」の内容です。

…… この絵表示は必ず実行していただく「強制」の内容です。

目　次

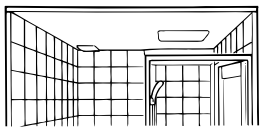
各部の名称 …… 1
安全上のご注意（必ずお守りください） …… 4
ご使用方法
- ドアについて …… 6
- 浴槽側水栓について …… 9
- シャワーバス水栓について …… 12
- 排水栓について …… 16
- グレーチングについて …… 17
- 洗面器台について …… 17

ご使用上の注意 …… 18
お手入れ方法
- 日頃のお手入れ …… 20
- ストレーナーのお手入れ …… 22
- 床排水トラップ・浴槽排水口のお手入れ …… 23
- 浴槽下のお手入れ …… 25
- 照明用電球の交換 …… 26

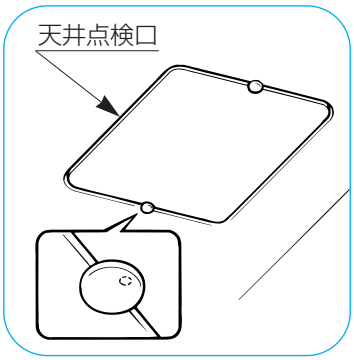
冬期凍結のおそれがある場合 …… 27
故障かな？と思ったら …… 29
アフターサービスについて …… 31
品番を調べる …… 34
廃棄について …… 35
優良住宅商品（ベターリビング商品）保証書 …… 36

各部の名称

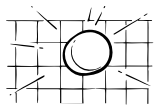
天　井



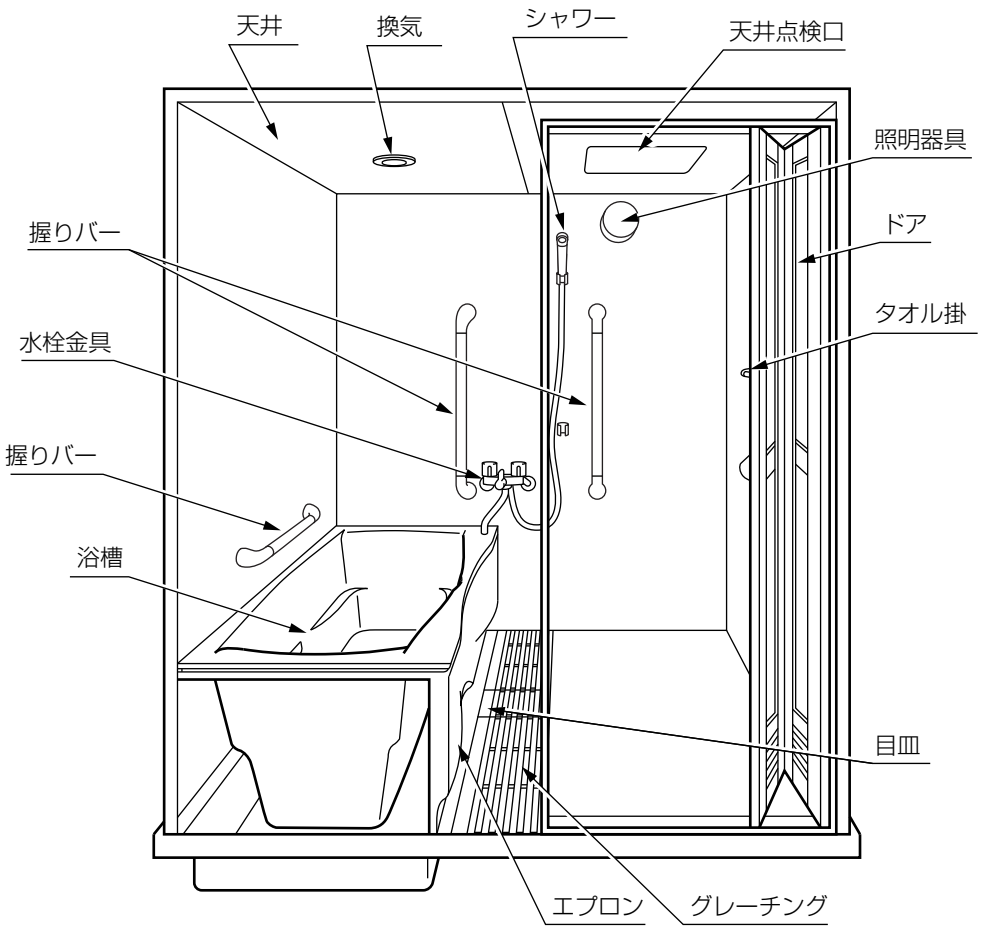
平天井



照 明 器 具



白熱灯

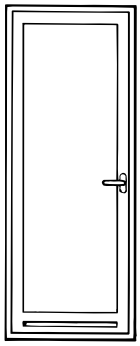


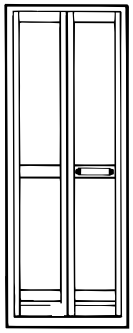
※ご使用いただくユニットバスルームは上記イラストと異なる場合があります。
※換気扇、バランス釜、浴槽、水栓は当社以外のものが取り付けられている場合があります。当社商品以外のものにつきましては、それぞれに付属の取扱説明書をご一読ください。

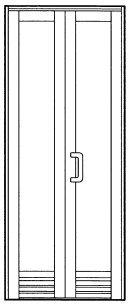
⚠ 注意

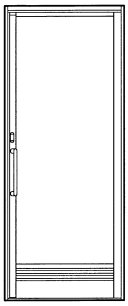
点検口は電気配線や配管関係などに異常が起きた場合、開けて点検・修理するためのものです。
ご自身で開けたり、天井裏に物などを置かないでください。
※**火災・感電や漏水の原因**となります。

ドア


開き戸


折り戸

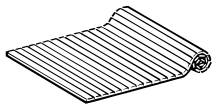

折り戸


引き戸

排水栓

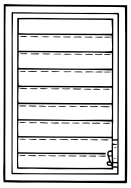
ゴム栓

風呂フタ（オプション）

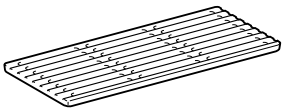

巻フタ

組フタ

窓（オプション）


可動ルーバー窓

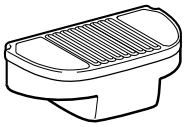
スノコ


グレーチング

握りバー（オプション）

収納部（オプション）

ニッチ

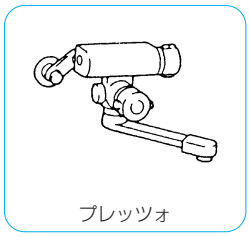

洗面器台

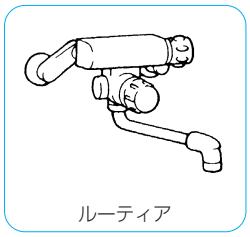
棚板

■水栓金具の種類

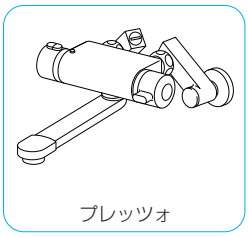
●浴槽側水栓（オプション）

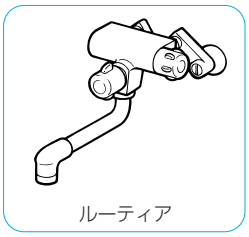
定量止水付サーモスタット水栓


プレッツォ

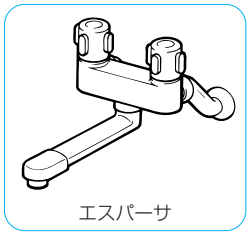

ルーティア

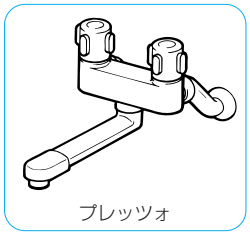
サーモスタット付水栓

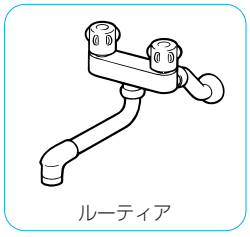

プレッツォ


ルーティア

ツーハンドル水栓

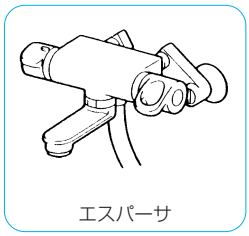

エスパーサ

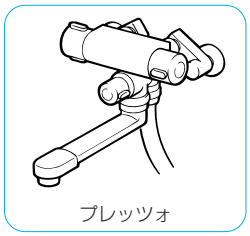

プレッツォ

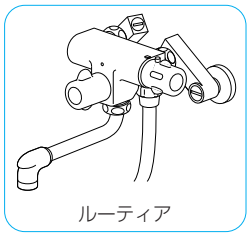

ルーティア

●シャワーバス水栓（オプション）

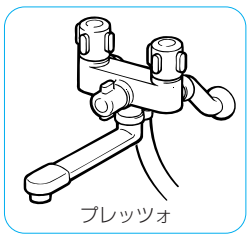
サーモスタット付水栓

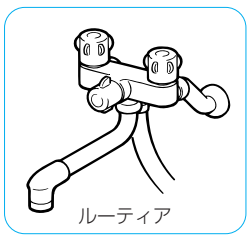

エスパーサ

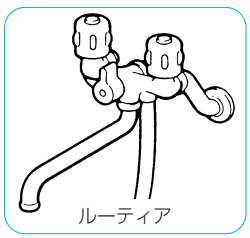

プレッツォ


ルーティア

ツーハンドル水栓


プレッツォ


ルーティア


ルーティア

安全上のご注意（必ずお守りください）

この安全上の注意をよくお読みの上、正しくお使いください

ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結び付くものです。
安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
水栓金具、換気扇などは商品に添付されている各取扱説明書および本体表示に従ってください。

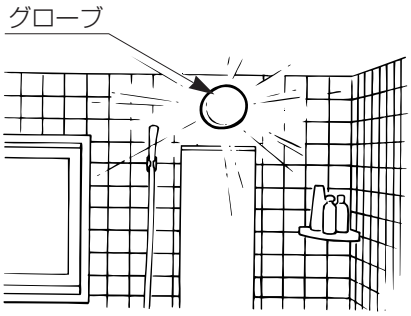
⚠ 警告

風呂フタを設置する場合は、風呂フタの上に体重をかけたり、乗らないでください。
※フタが外れたりして、**ケガやヤケドをするおそれ**があります。

水栓金具や換気扇などの付帯設備は、それぞれの商品に添付されている取扱説明書、および本体の注意表示に従ってお使いください。
※誤った使い方をすると、**思わぬ事故や故障のおそれ**があります。

換気扇などのお手入れや、電球を交換する場合は必ず電源（スイッチ）を切ってから行ってください。
※**感電やケガをするおそれ**があります。

照明器具や換気扇などの電気製品は、グローブやルーバーなどのカバーを外して使用したり、直接水をかけないでください。
※**火災や感電・故障したり、電球が割れてケガをするおそれ**があります。



照明器具にタオルなどを掛けないでください。
※過熱して**火災になるおそれ**があります。

排水栓は、手でしっかりと排水口に押し込んでください。
※自然循環式追いだき機器をご使用の場合、漏水により空だきとなり、**火災のおそれ**があります。

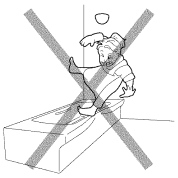
⚠ 注意

換気扇運転中はルーバーを外してファンやヒーターに触れたり、指や棒を入れないでください。
※**感電やケガ・故障のおそれ**があります。

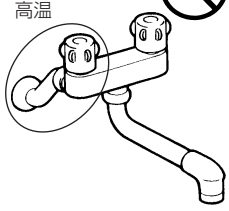
点検口は設備点検時以外は開けたり、中に物などを置かないでください。
※**火災・感電や漏水**、またフタが外れ、落下して**ケガをするおそれ**があります。

浴室内は石けん液などですべりやすくなっています。ゆっくりとした動作を心がけてください。
※転んで**ケガをするおそれ**があります。

浴槽やカウンター、洗面器台の上に乗って、掃除や電球交換をしないでください。
※不安定な作業になりますので、転倒して**ケガをするおそれ**があります。



水栓の左側の取付脚は給湯側のため高温になっています。金具の表面に直接、肌を触れないようにしてください。
※**ヤケドをするおそれ**があります。

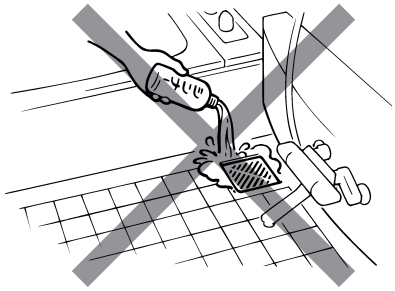


浴槽に飛び降りたりして、無理な力をくわえないでください。
※浴槽が破損して**ケガをしたり、漏水する**おそれがあります。

ご自分で握りバーやタオル掛などを取り付けないでください。
※**タイルが割れたり、漏水の原因**となります。

風呂フタは必ず浴槽に合ったものをお使いください。
※フタが外れて、**ケガやヤケドをするおそれ**があります。

排水口にシンナーなどの溶剤や薬品類を流し込まないでください。
※**漏水の原因**となります。



洗面器台（据置きタイプ）は固定具にしっかり固定してご使用ください。
洗面器台の上に足をかけたり乗らないでください。
※洗面器台が外れて、**ケガをするおそれ**があります。

鏡に熱湯や冷水をかけないでください。
※急激な温度変化は鏡破損の原因となり、**ケガをするおそれ**があります。

ものをぶつけるなど、鏡や壁への衝撃はお避けください。
※表面が傷ついたり、割れて**ケガをするおそれ**があります。

ご使用方法

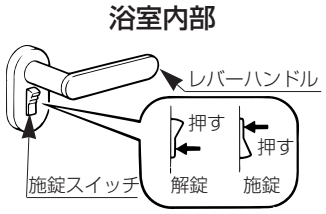
■ドアについて

タイプによりご使用方法が異なります。
以下の説明をよくお読みいただき、該当する方法で正しくご使用ください。

開き戸の施錠・解錠 ①

●浴室内側からの施錠・解錠

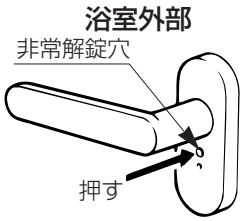
施錠は施錠スイッチの上側を押し、解錠は下側を押します。



※浴室から出る際にドアを閉めるときは、施錠スイッチを解錠状態にしてください。
施錠の状態にしたままドアを閉めますと、入室できなくなります。
その場合は、下の「浴室外側からの解錠（非常時）」をご覧ください。

●浴室外側からの解錠（非常時）

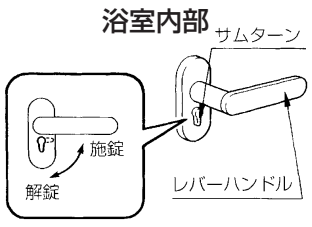
非常時に浴室外から解錠するときは、非常解錠穴をヘアピンなどで突きます。
施錠スイッチが解錠となり、ドアを開けることができます。



開き戸の施錠・解錠 ②

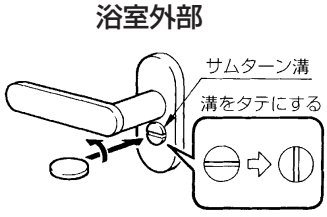
●浴室内側からの施錠・解錠

施錠はサムターンを右側横向きにし、解錠は下向きにします。
※浴室から出る際にドアを閉めるときは、サムターンを解錠状態にしてください。
施錠の状態にしたままドアを閉めますと、入室できなくなります。
その場合は、下の「浴室外側からの解錠（非常時）」をご覧ください。



●浴室外側からの解錠（非常時）

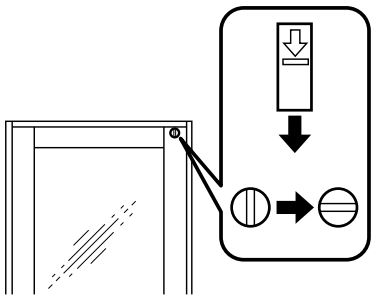
非常時に浴室外から解錠するときは、サムターン溝にコインなどを差し込んで矢印の方向へ回してください。
サムターンが解錠となり、ドアを開けることができます。



開き戸（ピポットヒンジ式）の取外し方

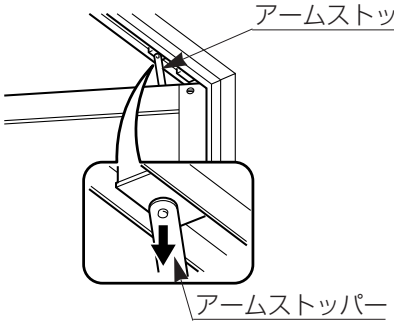
浴室内で人が倒れるなどによりドアが開かなくなった場合には、以下の要領で救助作業を行ってください。

①扉上部のツマミを矢印の向きに操作します。
②レバーハンドルを操作し、ドアを浴室側に開きます。

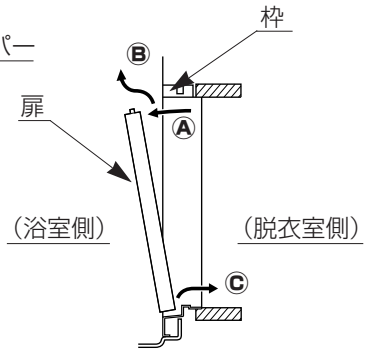


ドアのタイプによりツマミの形状が異なります。

③扉上部のアームストッパーを下へ引っぱり、枠から引き抜きます。



④扉上部を浴室側へ倒しながら（図中Ⓐ）上方へ持ち上げます。（図中Ⓑ）
⑤扉を少し斜めにしながら、扉下部から脱衣室側へ扉を取り外します。（図中Ⓒ）



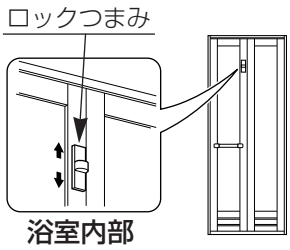
※取付けは「取外し方」と逆の手順で行います。
※取付後、ツマミが取外し前の状態に戻っていることを確認してください。

●開き戸（丁番式）は扉が取り外しできません。

折り戸の施錠・解錠

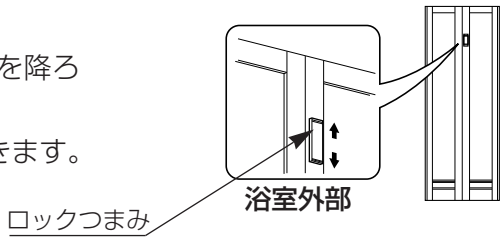
●浴室内側からの施錠・解錠

施錠はドア上側にあるロックつまみを上げます。
解錠はロックつまみを降ろします。



●浴室外側からの解錠（非常時）

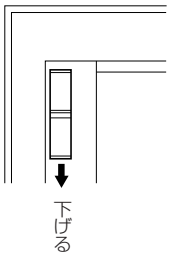
非常時に浴室外から解錠するときは、ロックつまみを降ろします。
施錠スイッチが解錠となり、ドアを開けることができます。



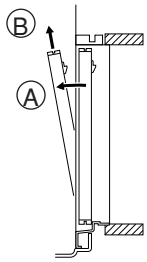
折り戸の取外し方

浴室内で人が倒れるなどによりドアが開かなくなった場合には、以下の要領で救助作業を行ってください。

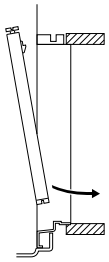
①扉上部のツマミを下げます。



②扉上部を浴室側に傾けます。-Ⓐ
扉を上方へ持ち上げます。－Ⓑ

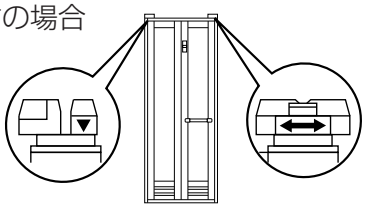


③扉を折り曲げたまま、
脱衣室側に取り出します。

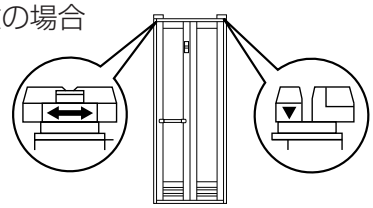


※取付けは「取外し方」と逆の手順で行います。取付けの際は、戸車の向きに注意してください。向きを間違えると開閉時、枠から障子が外れます。

把手が右の場合



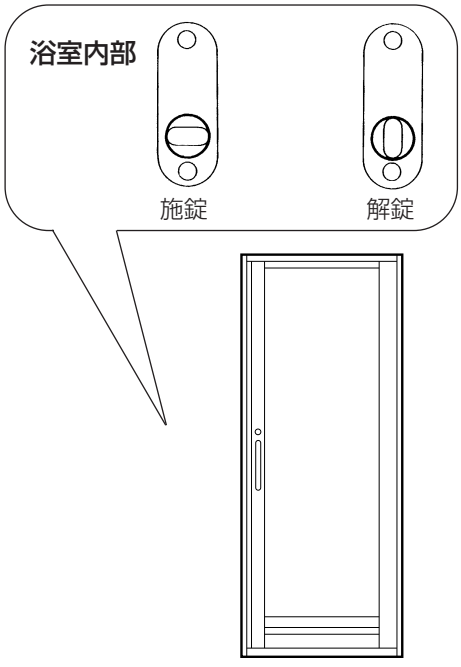
把手が左の場合



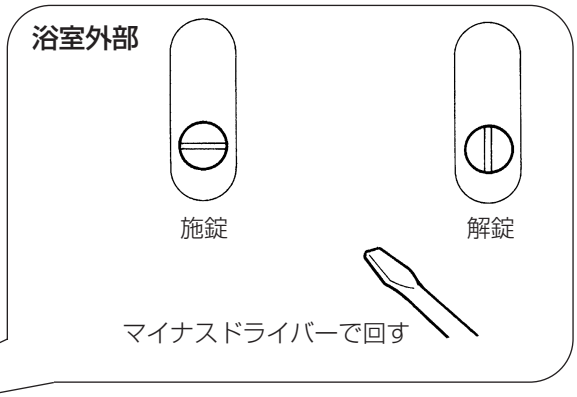
※取付後は、ツマミを元の位置（上側）に戻っていることを確認してください。

片引き戸の施錠・解錠

●浴室内側からの施錠・解錠



●浴室外側からの施錠・解錠



⚠ 注意

片引き戸開閉の際には、戸のすき間に指や手をはさまないよう、注意してください。
※ケガをするおそれがあります。

■浴槽側水栓について

水栓の取扱いは、タイプによって異なりますので、ご使用いただく水栓に合わせてご覧ください。
詳しくは各水栓金具の取扱説明書をご覧ください。

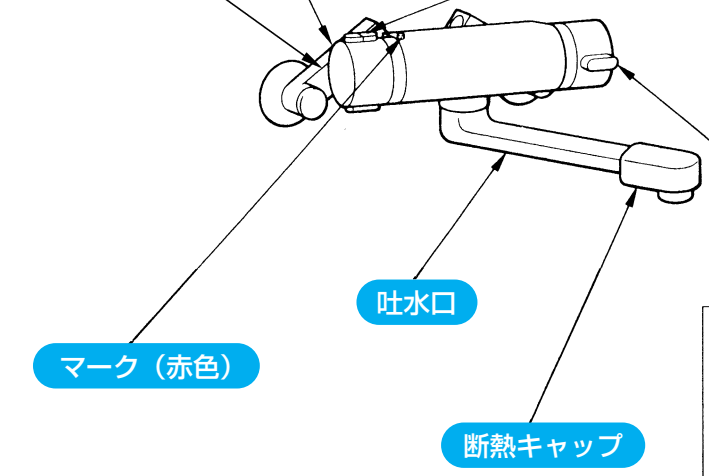
サーモスタット付水栓（プレッツォ）

温度調節ハンドル

お湯の温度を調節します。
このハンドルの目盛は温度を示しています。これを目安として希望温度をマーク（赤色）に合わせます。

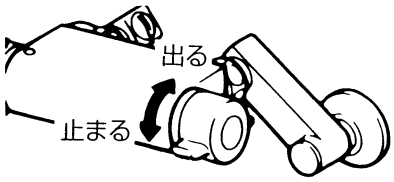
安全ボタン

40℃で一度ハンドルが止まります。
40℃以上の温度が必要な場合は、このボタンを押しながら回します。



開閉ハンドル

お湯を出したり、止めたりします。
ハンドルのレバーが横になっているときが止水位置です。お湯を出すときはハンドルを上方に回します。



⚠ 注意

- ●水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。
  ※高温の湯が出て**ヤケドをするおそれ**があります。
- ●水栓の左側の取付脚は給湯側のため高温になっています。金具の表面に直接、肌を触れないようにしてください。
  ※**ヤケドをするおそれ**があります。
- ●ハンドル操作の急閉止はおやめください。
  ※配管から漏水をおこし、**家財などをぬらす原因**となります。

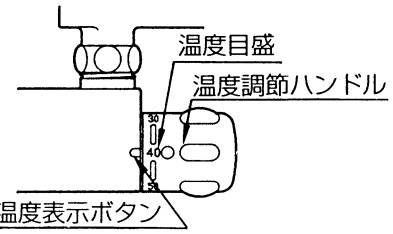
サーモスタット付水栓（ルーティア）

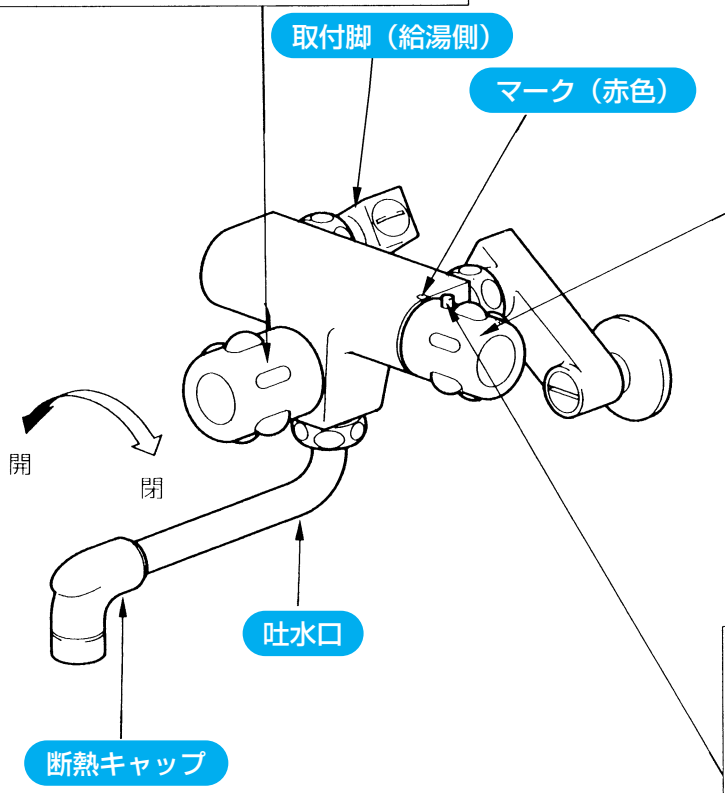
開閉ハンドル

お湯を出したり、止めたりします。
お湯を出すときは開閉ハンドルを左方に回します。

温度調節ハンドル

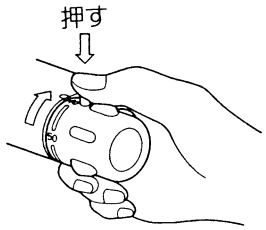
お湯の温度を調節します。
このハンドルの目盛は温度を示しています。これを目安として希望温度をマーク（赤色）に合わせます。





安全ボタン

40℃で一度ハンドルが止まります。
40℃以上の温度が必要な場合は、このボタンを押しながら回します。



⚠ 注意

- 水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。
  ※高温の湯が出て**ヤケドをするおそれ**があります。
- 水栓の左側の取付脚は給湯側のため高温になっています。金具の表面に直接、肌を触れないようにしてください。
  ※**ヤケドをするおそれ**があります。
- ハンドル操作の急閉止はおやめください。
  ※配管から漏水をおこし、**家財などをぬらす原因**となります。

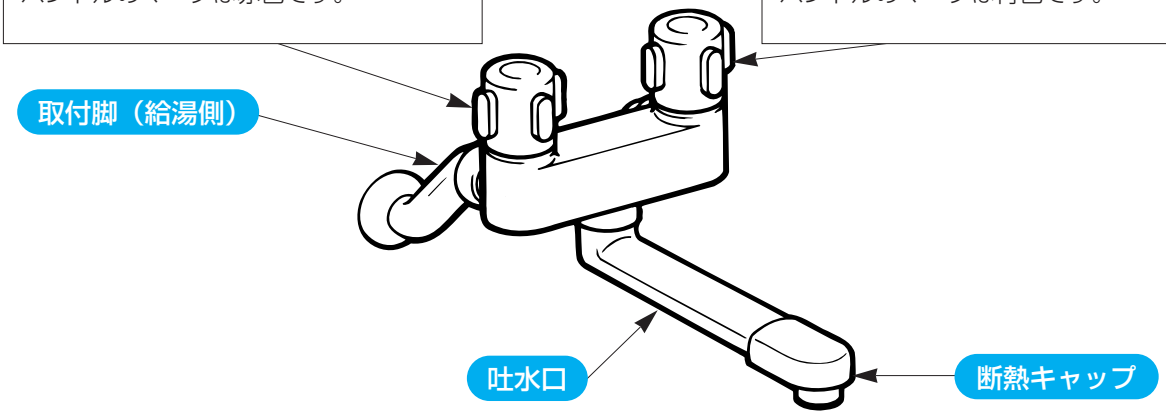
ツーハンドル水栓

湯側ハンドル

お湯を出したり、止めたりします。
ハンドルのマークは赤色です。

水側ハンドル

水を出したり、止めたりします。
ハンドルのマークは青色です。



⚠ 注意

- ●水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。
  ※高温の湯が出て**ヤケドをするおそれ**があります。
- ●水栓の左側の取付脚は給湯側のため高温になっています。金具の表面に直接、肌を触れないようにしてください。
  ※**ヤケドをするおそれ**があります。
- ●ハンドル操作の急閉止はおやめください。
  ※配管から漏水をおこし、**家財などをぬらす原因**となります。

■シャワーバス水栓について

水栓の取扱いは、タイプによって異なりますので、ご使用いただく水栓に合わせてご覧ください。
詳しくは各水栓金具の取扱説明書をご覧ください。
水栓は当社商品以外の器具が取り付けられている場合があります。
当社商品以外の器具につきましては、器具に付属の取扱説明書をご一読ください。

サーモスタット付水栓

温度調節ハンドル

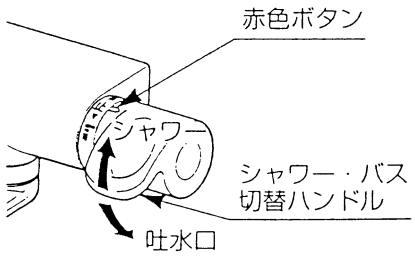
お湯の温度を調節します。
このハンドルの目盛は温度を示しています。これを目安として希望温度をマーク（赤色）に合わせます。
※温度目盛の上限は「45」で、約45℃以上のお湯は出ません。

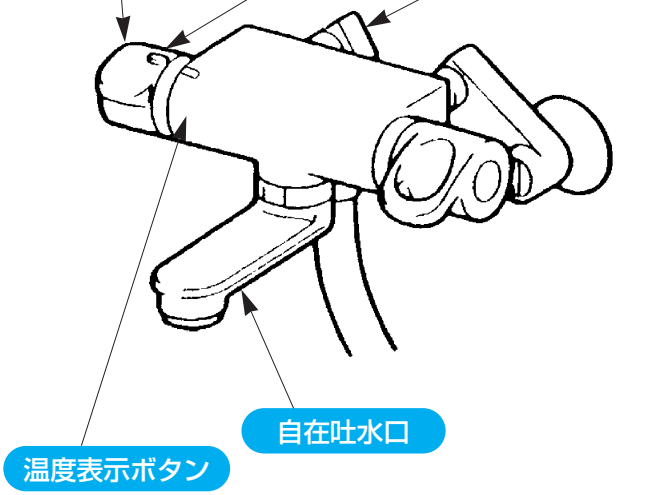
安全ボタン

40℃で一度ハンドルが止まります。
40℃以上の温度が必要な場合は、このボタンを押しながら回します。

シャワー・バス切替ハンドル

シャワーと吐水口を切り替えます。
シャワー・バス切替ハンドルの赤色ボタンと本体側の表示リングの「止」マークが合っているときが止水位置です。
シャワー使用のときはシャワー・バス切替ハンドルを上に回してください。
吐水口使用のときはシャワー・バス切替ハンドルを下に回してください。





⚠ 注意

- ●水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。
  ※高温の湯が出て**ヤケドをするおそれ**があります。
- ●水栓の左側の取付脚は給湯側のため高温になっています。金具の表面に直接、肌を触れないようにしてください。
  ※**ヤケドをするおそれ**があります。
- ●ハンドル操作の急閉止はおやめください。
  ※配管から漏水をおこし、**家財などをぬらす原因**となります。

サーモスタット付水栓（プレッツォ）

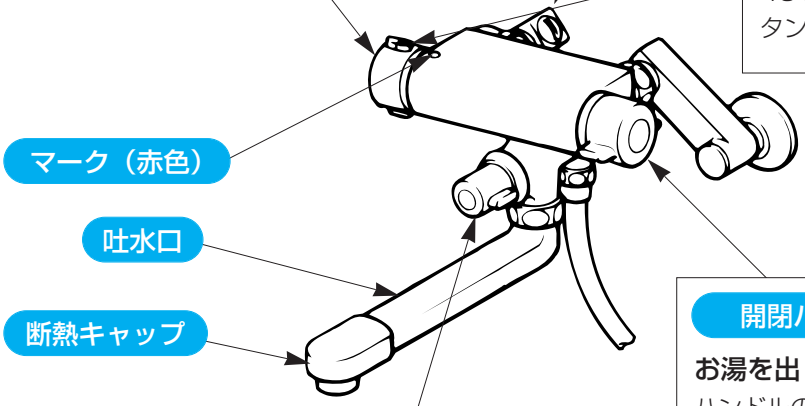
温度調節ハンドル

お湯の温度を調節します。
このハンドルの目盛は温度を示しています。これを目安として希望温度をマーク（赤色）に合わせます。

取付脚（給湯側）

安全ボタン

40℃で一度ハンドルが止まります。
40℃以上の温度が必要な場合は、このボタンを押しながら回します。



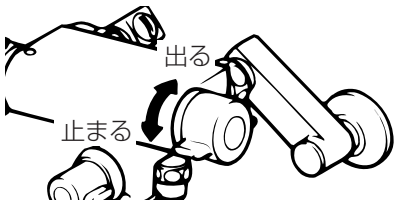
マーク（赤色）

吐水口

断熱キャップ

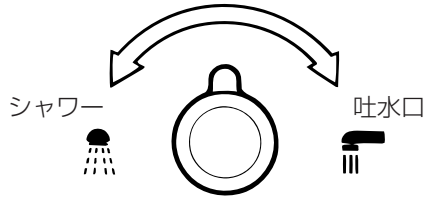
開閉ハンドル

お湯を出したり、止めたりします。
ハンドルのレバーが横になっているときが止水位置です。お湯を出すときはハンドルを上方に回します。



切替ハンドル

シャワーと吐水口を切り替えます。
シャワー使用のときは左へ、吐水口使用のときは右に回します。



⚠ 注意

- ●水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。
  ※高温の湯が出て**ヤケドをするおそれ**があります。
- ●水栓の左側の取付脚は給湯側のため高温になっています。金具の表面に直接、肌を触れないようにしてください。
  ※**ヤケドをするおそれ**があります。
- ●ハンドル操作の急閉止はおやめください。
  ※配管から漏水をおこし、**家財などをぬらす原因**となります。

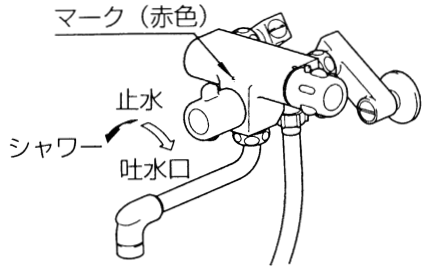
サーモスタット付水栓（ルーティア）

切替ハンドル

シャワーと吐水口を切り替えます。

シャワー使用のときは左へ、吐水口使用のときは右に回します。

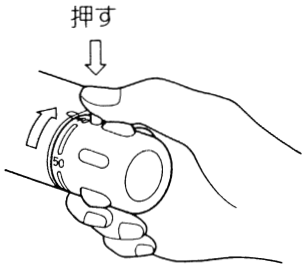
お湯を止めるときは、ハンドルのレバー部をマーク（赤色）に合わせます。

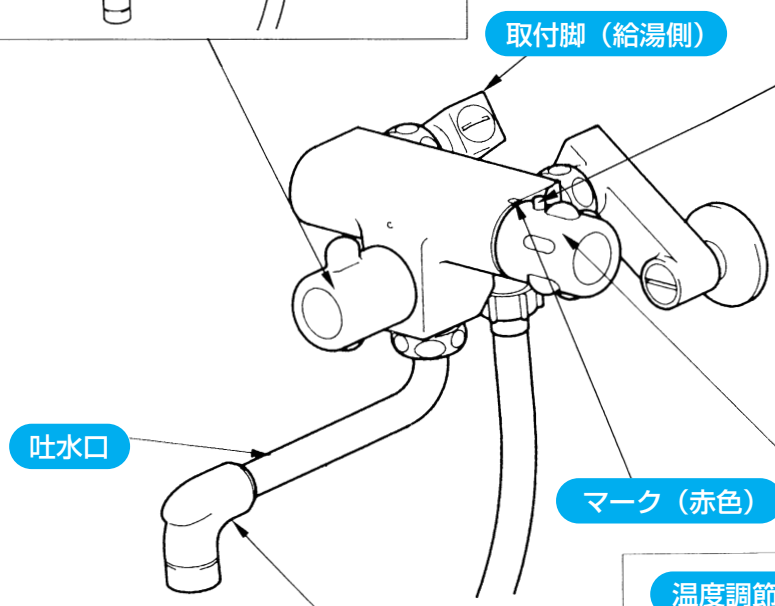


安全ボタン

40℃で一度ハンドルが止まります。

40℃以上の温度が必要な場合は、このボタンを押しながら回します。





温度調節ハンドル

お湯の温度を調節します。

このハンドルの目盛は温度を示しています。これを目安として希望温度をマーク（赤色）に合わせます。

⚠ 注意

- ●水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。
  ※高温の湯が出て**ヤケドをするおそれ**があります。
- ●水栓の左側の取付脚は給湯側のため高温になっています。金具の表面に直接、肌を触れないようにしてください。
  ※**ヤケドをするおそれ**があります。
- ●ハンドル操作の急閉止はおやめください。
  ※配管から漏水をおこし、**家財などをぬらす原因**となります。

ツーハンドル水栓

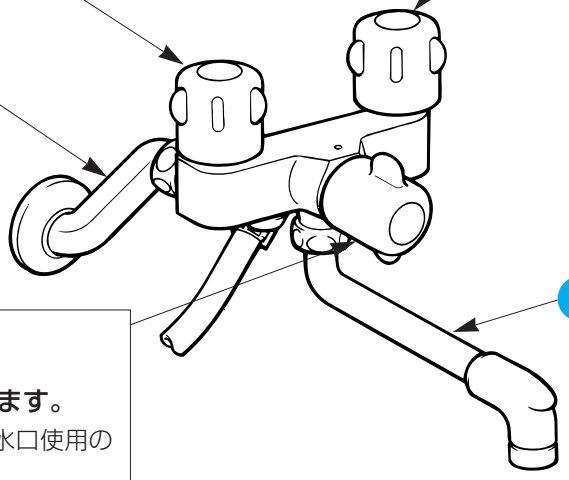
※図はルーティアシリーズです。他のシリーズ形状は若干異なりますが、使用方法は同様です。

湯側ハンドル

お湯を出したり、止めたりします。
ハンドルのマークは赤色です。

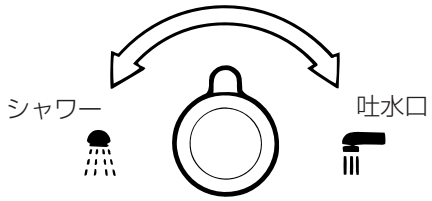
水側ハンドル

水を出したり、止めたりします。
ハンドルのマークは青色です。



切替ハンドル

シャワーと吐水口を切り替えます。
シャワー使用のときは左へ、吐水口使用のときは右に回します。

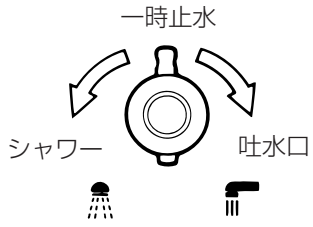


⚠ 注意

- ●水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。
  ※高温の湯が出て**ヤケドをするおそれ**があります。
- ●水栓の左側の取付脚は給湯側のため高温になっています。金具の表面に直接、肌を触れないようにしてください。
  ※**ヤケドをするおそれ**があります。
- ●ハンドル操作の急閉止はおやめください。
  ※配管から漏水をおこし、**家財などをぬらす原因**となります。

● 一時止水機能付の場合

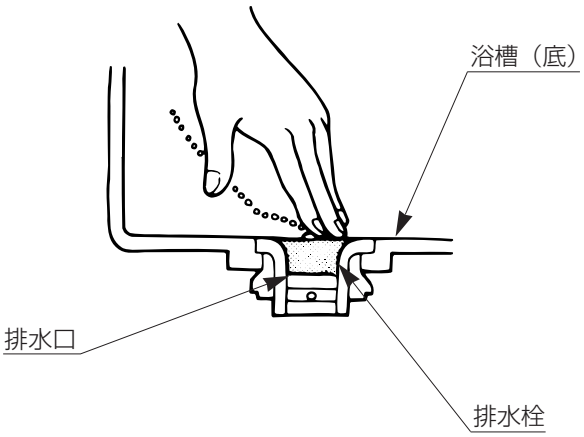
切替ハンドルを上方に向けると、ハンドルを閉めた場合と同様にお湯が止まります。



■排水栓について

●ゴム栓の場合

排水栓は手でしっかりと排水口に押し込みます。



■グレーチングについて

グレーチングの取付け・取外し

●取外し

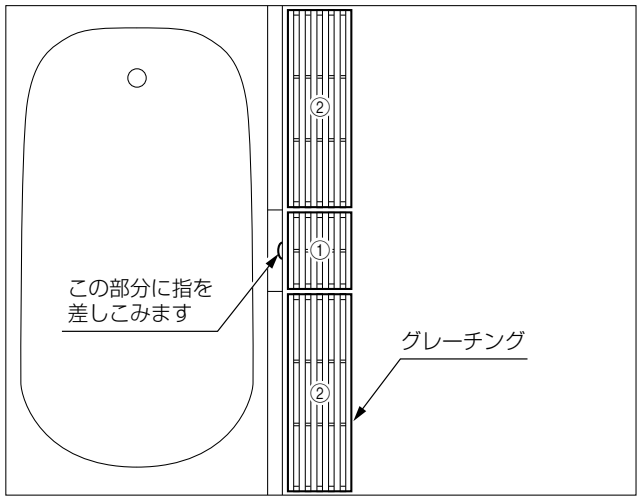
グレーチングは3つに分割されています。
右図の①②の順に取り外します。

●取付け

右図の②①の順に取り付けます。

ワンポイント

グレーチングの裏側は髪の毛や湯アカなどの汚れが付きやすいので、こまめに掃除することをお薦めします。

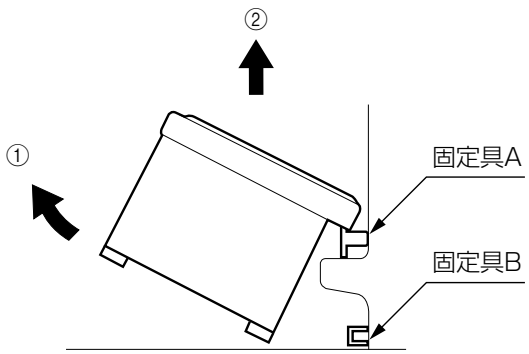


■洗面器台について

洗面器台の取付け・取外し

●取外し

①洗面器台の下部を手前上方に引きます。
②そのまま洗面器台全体を下図の方向に持ち上げて、固定具から外します。



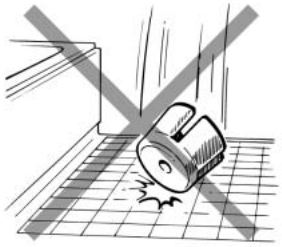
●取付け

①洗面器台の上部奥を固定具Aに掛けます。
②洗面器台全体を固定具Bに向けて力強く押し込みます。

ご使用上の注意

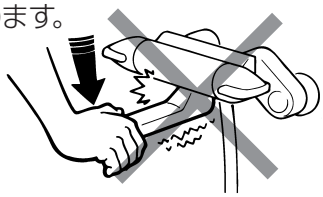
■故障をおこさないためにお守りください

重いものや硬いものを落さないでください。
※**キズの原因**となります。



タオル掛け、タオルリングに無理な力を加えないでください。
※**破損や漏水の原因**となります。

水栓吐水口を上下に動かしたり、無理な力を加えないでください。
※**漏水の原因**となります。



窓枠の上に植木ばちなどの重いものを置かないでください。
※**破損や漏水の原因**となります。

洗面台やカウンターに乗ったり、すわったりしないでください。
※**破損や漏水する原因**となります。

ドアに直接水をかけないでください。
※浴室外に水が漏れ、他の部屋に悪影響を及ぼすことがあります。

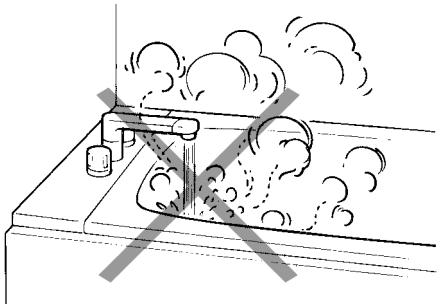
クレンザー・磨き粉・ラッカー・シンナー・アルコールまたは塩酸、アンモニア、苛性ソーダなどの薬品や漂白剤は使用しないでください。
※**キズ、変色などの原因**になります。
また、サンドペーパーやタワシの使用も、光沢を失わせキズをつけるのでお止めください。

中性以外の入浴剤、硫黄分を含む入浴剤、液体入浴剤や温泉水を使用しないでください。
※**浴槽表面の変色の原因**となります。

ヘアピン・カミソリの刃などをカウンターなどに放置しないでください。
※**サビが付着して取れなくなる場合**があります。

タバコなどの火気を近づけないでください。
※**キズ・ヒビ割れの原因**となります。

お湯は温度を調節して給湯してください。
※直接熱湯（80℃以上）を入れたり、お湯を沸かしすぎますと**浴槽や排水金具を傷めたり、寿命を短くする原因**となります。



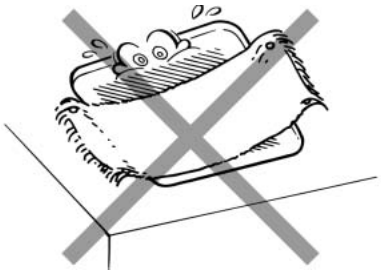
溶剤の入った液体入浴剤を使用しないでください。
※パッキンや目地材を傷め、**漏水の原因**となります。

浴槽浄化保温機(24時間バス)に該当する機器は使用しないでください。
※継続して使用すると**浴槽表面の荒れ・退色などを著しく促進する場合**があります。

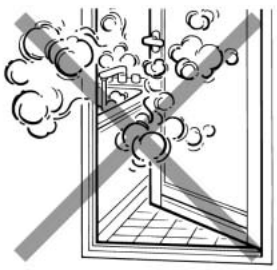
浴室内に毛染め剤やマニキュア除光液などが付着した場合は、ただちにふき取ってください。
※長時間放置すると**シミになる場合**があります。

床・壁・天井・窓枠などの継目部分には、漏水を防ぐため目地材(または、コーキング材)がうたれています。はぎ取ったり、キズつけないでください。
※**漏水の原因**となります。

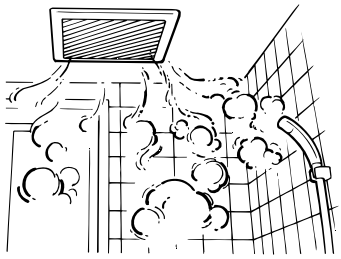
換気扇の吸込口をタオルなどでフタをしないでください。
※**故障の原因**となります。



入浴中や貯湯、入浴直後は浴室のドアを必ず閉めてください。
※浴室外に蒸気や水が漏れ、**他の部屋に悪影響を及ぼします。**



入浴後は窓を開けたり、換気扇を使用するなど、浴室にこもった蒸気を屋外へ排出してください。
※浴室にこもった蒸気は、**悪臭やカビの発生原因**となります。



冬期凍結のおそれのある場合は、浴槽内の湯は排水してください。水栓金具は、付属の取扱説明書に従って必ず水抜きをしてください。
※追いだき付き給湯機を使用の場合は、給湯機の取扱説明書に記載の凍結防止方法を参考にしてください。

・KILAMIC抗菌仕様商品は表面に菌が付着したときに抗菌効果を発揮し、菌の働きによる汚れの生成を抑制します。ホコリ、油膜などが表面を覆った場合、この上に付着する菌に対しては充分な抗菌効果を発揮できません。
・KILAMIC抗菌仕様商品は菌の繁殖を抑制する効果は持ちますが、菌がまったくなくなるわけではありません。したがって、本商品を感染防止を目的として使用しないでください。

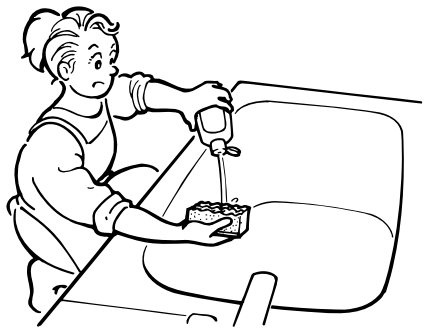
お手入れ方法

■日頃のお手入れ

クレンザー・磨き粉・ラッカー・シンナー・アルコールまたは塩酸などの薬品や漂白剤は使用しないでください。
※キズ、変色などの原因になります。
また、サンドペーパーやタワシの使用も、光沢を失わせキズをつけるのでお止めください。

浴槽や風呂フタ・床のお手入れ

浴槽用中性洗剤をスポンジか柔らかい布に付けて洗い、その後水でよく洗い流してください。
また、浴槽の底にたまったゴミや鉄粉はよく洗い流してください。
頑固な汚れには市販クリームクレンザーを使用すると、磨けば汚れは落ちますが、クレンザーの多用は浴槽の光沢を失わせます。
日頃からこまめに清掃してください。



ワンポイント

入浴後、排水するときに掃除をすると汚れは簡単に落とすことができます。
時間がたつほど汚れは落ちにくくなります。

天井・壁パネル・ドアのお手入れ

中性洗剤でふき洗いしてください。
洗剤は湿らせた布で、きれいにふきとってください。

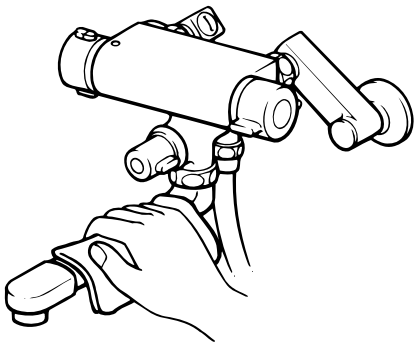
水栓金具・タオル掛のお手入れ

水栓金具、タオル掛は週に1回程度、乾いた柔らかい布でふいてください。

※硬いものでたたいたり、ぶつけたりしないでください。
キズがついたり、メッキがはがれたりします。

※アルカリ性洗剤や酸性物が付かないようにしてください。
メッキを傷めます。

※水栓金具については各取扱説明書を参照ください。



カウンター・収納棚・ニッチ・洗面器台・点検口・照明カバー・窓枠のお手入れ

食器用中性洗剤をうすめてスポンジなど柔らかいものに含ませてふいてください。ふいた後は湿らせた布できれいに洗剤をふきとってください。

※硬いものでたたいたり、ぶつけたりしないでください。
キズがつきます。

目地のお手入れ

タイルの目地材は、ゴミやアカがつきやすく、カビが発生することがあるので、少なくとも週1回は布またはスポンジに中性洗剤をつけて、目地部の汚れをふきとってください。

ワンポイント

防カビ剤を塗布しますと、カビの発生が少なくお手入れが楽になります。

また、目地に著しくカビが発生しているときは、次亜塩素酸系の漂白剤で漂白します。次亜塩素酸系の漂白剤が入手できない場合は、市販のカビ取り剤や洗濯用、あるいはキッチン用漂白剤をお使いください。

お願い

漂白剤やカビ取り剤・防カビ剤を使用する場合は、必ずその取扱説明書をよく読んで、正しくお使いください。

握りバーのお手入れ

汚れは、乾いた柔かい布でふきとってください。汚れがひどいときは、中性洗剤をしみ込ませた布でふき、そのあと必ず水ぶきしてください。

■ストレーナーのお手入れ（壁付水栓の場合）……

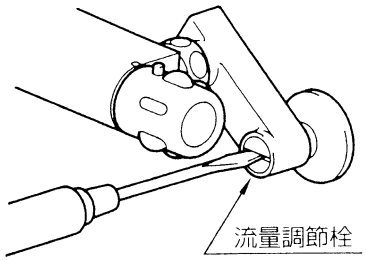
ストレーナーの掃除

長期間使用していると、シャワーや吐水口からの水量が減っていくことがあります。
原因としてストレーナーの目詰まりが考えられます。
以下の要領でストレーナーの掃除を行ってください。（目安としては2年に1回程度です。）
※ツーハンドル水栓は掃除することはできません。お求めの販売店営業所またはお客さま相談室にご連絡ください。

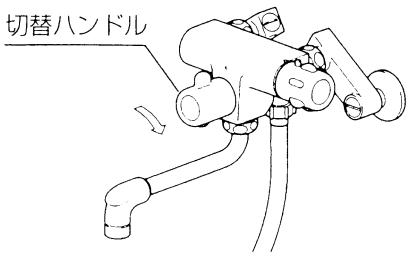
例）ルーティア水栓の場合

①建築側の給水栓（元栓）を閉めます。

②流量調節栓を右（時計回り）にいっぱいに回して、閉めます。
※このとき、どのくらい回したかをメモしてください。
ストレーナー掃除後、元の水量に戻すためです。

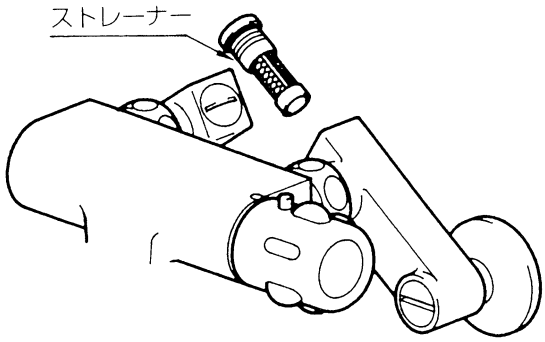


③切替ハンドルを吐水口側、開閉ハンドルを開いて金具内の水を流します。



④大型マイナスドライバーを使用して、ストレーナーを取り外します。
※ストレーナーは湯側と水側両方に付いています。

⑤ストレーナーのゴミなどを水で洗い流します。
⑥取付けは逆の手順で行い、流量調節栓を元の位置に戻します。



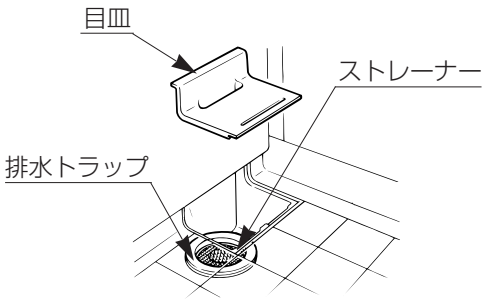
■床排水トラップ・浴槽排水口のお手入れ ……

悪臭や害虫の発生原因となりますので、週に1度はゴミなどを取り除いてください。

床排水口のお手入れ（BPシリーズの場合）

目皿・ストレーナーを取り外し、目皿・ストレーナーや排水トラップ周辺のゴミを取り除いてください。

※ゴミなどは週に1度は取り除いてください。
　取り除いたゴミなどは直接流さないでください。排水管の詰まりの原因となります。

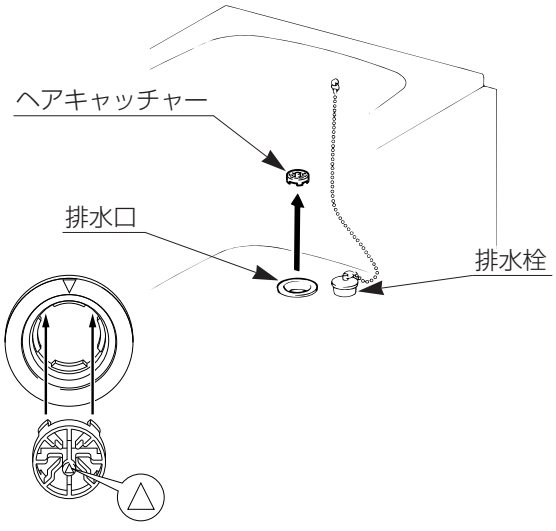


浴槽排水口のお手入れ

浴槽排水口内のゴミを取り除いてください。

※排水口内のゴミなどは週に1度は取り除いてください。
　取り除いたゴミなどは直接流さないでください。
　排水管の詰まりの原因となります。

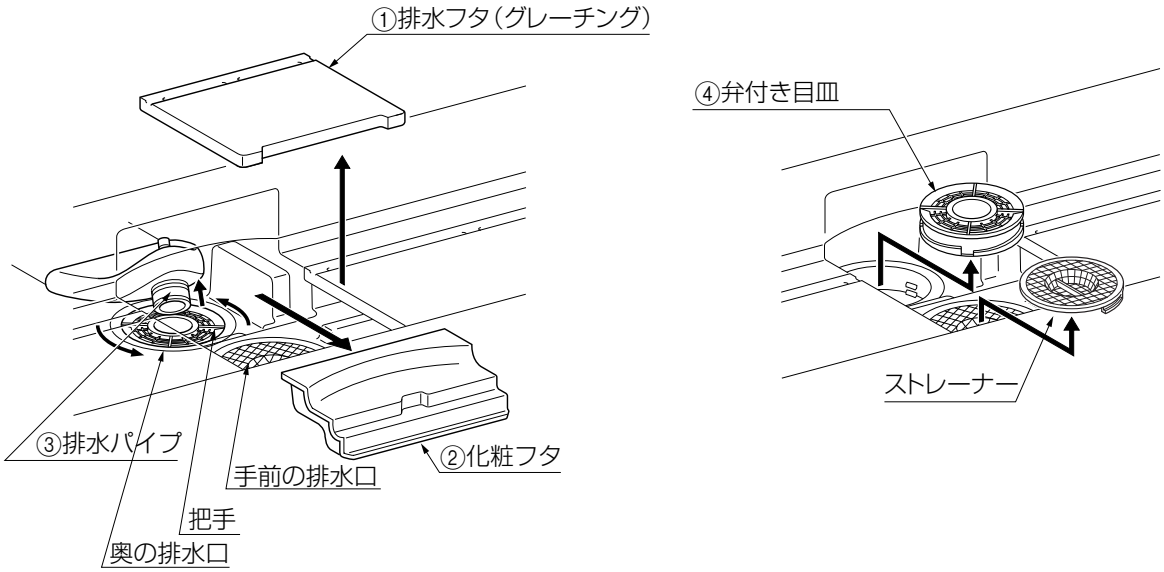
※ヘアキャッチャーを排水口に取り付ける時は、ヘアキャッチャーの△マークを排水口の△マークに合わせてパチンと音がするまできちんと押込んでください。きちんと取り付けないと浴槽の湯張りが十分にできなくなります。



床排水口のお手入れ（BYシリーズの場合）

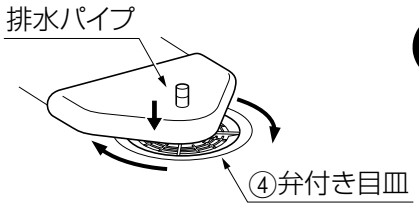
排水口は、手前と奥の2ヶ所にありますので、必ず両方とも掃除してください。

①中央の排水フタ（グレーチング）を取り外します。
※ユニットバスルームのタイプにより、排水フタ（グレーチング）の形状はイラストと異なる場合があります。
②化粧フタを取り外します。
③排水パイプを上に折り曲げる様にして取り外します。
④弁付き目皿を把手を反時計まわりに回転させて取り外します。（弁付き目皿には排水の逆流を防止するための弁がついています。）
⑤目皿・ストレーナーや排水口周辺のゴミを取り除いてください。
※取り除いたゴミなどは直接流さないでください。排水管詰まりの原因となります。
⑥お手入れの後は、取外しと逆の手順で取り付けます。



⚠ 注意

お手入れの後は、弁付き目皿を時計まわりに回転させて確実に締め込み、排水パイプを確実に差し込んでください。
※浴室から水があふれるおそれがあります。



※BYシリーズはバリアフリー対応品のため、浴槽排水時間が従来より少し長くなっていますが、故障ではありませんので安心してお使いください。

標準排水時間（実用水量からの排水時間）

ユニットバスサイズ	1418 1416	1317	1218 1216
排水時間	約7～8分	約7～8分	約6～7分

排水時間は設置条件により、ことなる場合があります。
（※実用水量とは、満水量－60ℓ（大人1人分）を表します。）

■浴槽下のお手入れ

⚠ 注意

ケガに注意

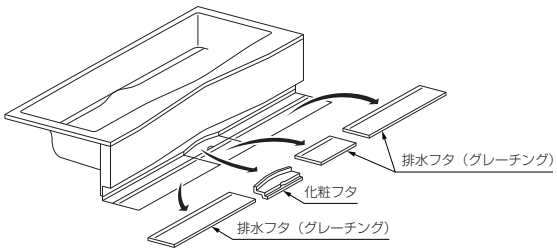
浴槽下のお手入れは、肌が露出しない服装で、ゴム手袋を使って行ってください。
※**ケガをするおそれ**があります。

浴槽下には直接、腕や手を入れないでください。
※突起物などで**ケガをするおそれ**があります。

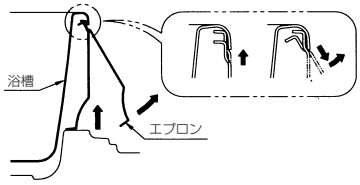
エプロンの取外しおよび取付けは、エプロン下中央を持って行ってください。
※端を持つと、防水パンとエプロンの間に指をはさみ、**ケガをするおそれ**があります。

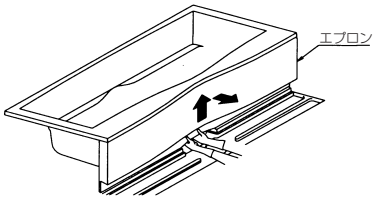
浴槽内を空にして作業を行ってください。

①目皿、グレーチングを取り外します。

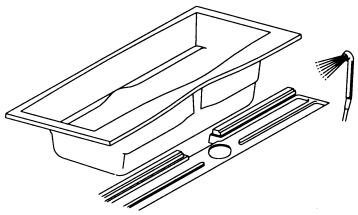


②エプロンを取り外します。
エプロンの下中央を軽く押し上げながら、手前に引き出します。

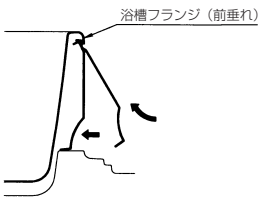




③浴槽下にシャワーで散水し、ゴミや汚れを洗い流します。



④お手入れが終わったら、エプロンを取り付けます。エプロン下中央を持ち、エプロン上部を浴槽フランジに差し込み、軽く押し上げながら防水パンにのせます。
※エプロンが防水パンに納まりにくい場合は、浴槽フランジを少し持ち上げるようにして納めてください。



⑤目皿、グレーチングを取り付けます。

■照明用電球の交換

電源スイッチを入れても照明がつかない場合は電球が切れていることが考えられます。電源スイッチを切って、次の要領で交換してください。
交換しても照明がつかない場合は、お求めの販売店へご連絡ください。

⚠ 警告

照明スイッチ（配電盤スイッチ）は必ず切った上で作業してください。
※**感電やショートするおそれ**があります。

ぬれた手で交換作業をしないでください。
※**感電やケガをするおそれ**があります。

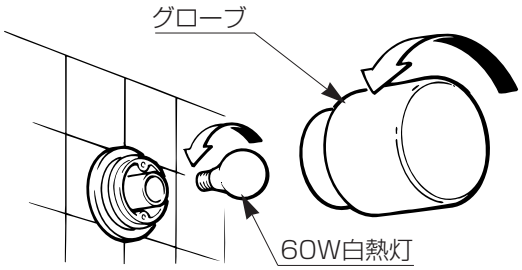
⚠ 注意

蛍光灯や電球はセットされているワット数のものと同じものをご使用ください。
※**故障の原因**となります。

電球が切れてもすぐに交換しないでください。
※電球が熱くなっており、**ヤケドをするおそれ**があります。

白熱灯の交換

①照明スイッチを切ります。
②円筒形または角形のグローブを左に回して取り外します。
③電球を取り外し、新しいもの（60W白熱灯）に交換します。
④グローブを右に回してしっかりと取り付けます。
⑤照明スイッチを入れて点灯することを確認します。



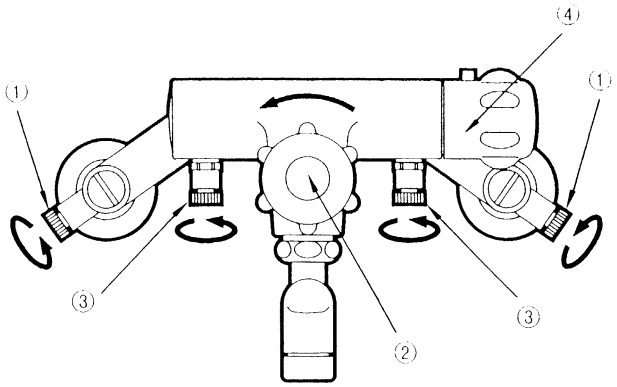
冬期凍結のおそれがある場合

冬期凍結のおそれがある場合は、必ず浴槽内のお湯を排水してください。
また、寒冷地仕様の場合は、以下の手順で水栓の水抜きを行ってください。

サーモスタット付水栓（浴槽側）

1. 建築側の給水栓（元栓）を閉めてください。
2. 取付脚の水抜き栓①（2個）を回して開けます。
3. 開閉ハンドル②を全開にします。
4. 本体の水抜き栓③（2個）を回して開けます。
5. 温度調節ハンドル④を数回「C」側から「H」側まで回します。

※再通水するときは、その前に必ず水抜き栓①③を閉めてください。

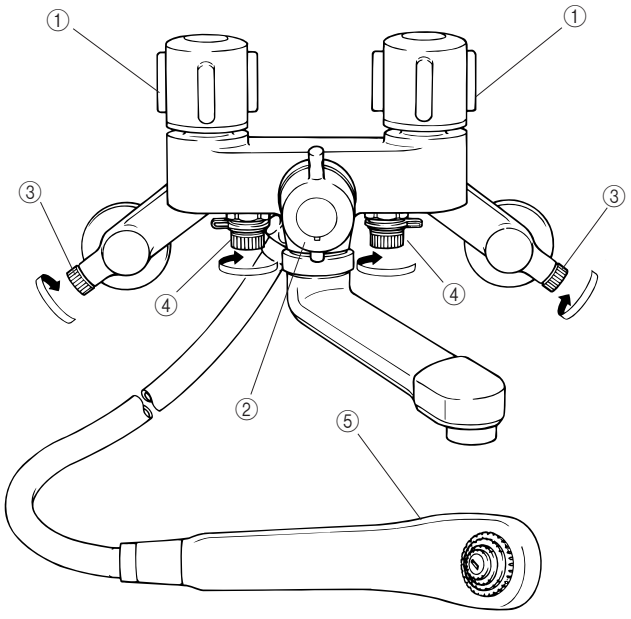


ツーハンドル水栓（シャワーバス）

●プレッツォ

1. 建築側の給水栓（元栓）を閉めてください。
2. 湯側ハンドルと水側ハンドル①を開けます。
3. シャワー・吐水口切替ハンドル②を吐水口側（右）に回します。
4. 取付脚の水抜き栓③（2個）を回して開けます。
5. 本体の水抜き栓④（2個）を回して開けます。
6. シャワー・吐水口切替ハンドル②をシャワー側（左）に回します。
7. シャワーヘッド⑤を振って水をよく切り、床に置きます。

※再通水するときは、その前に必ず水抜き栓③④を閉めてください。

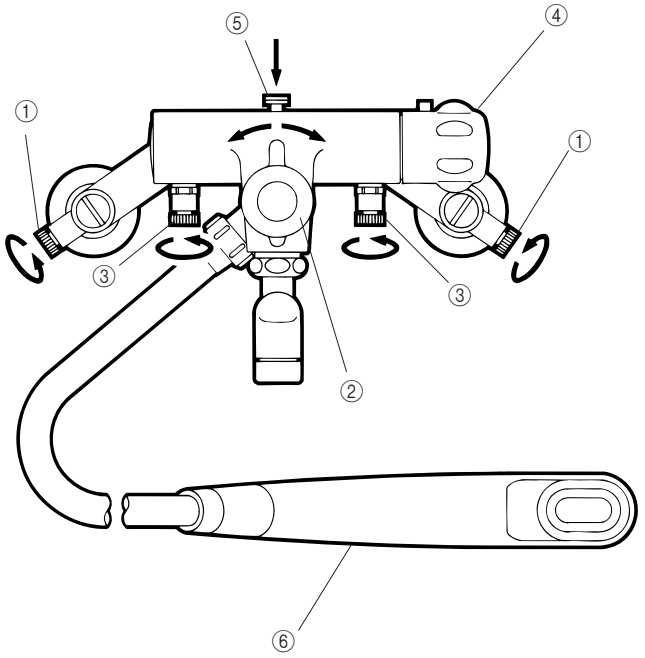


サーモスタット付水栓（洗い場側）

●壁付水栓の場合

1. 建築側の給水栓（元栓）を閉めてください。
2. 取付脚の水抜き栓①（2個）を回して開けます。
3. シャワー・吐水口切替ハンドル②を吐水口側（右）に回します。
4. 本体の水抜き栓③（2個）を回して開けます。
5. 温度調節ハンドル④を数回「C」側から「H」側まで回します。
6. シャワー・吐水口切替ハンドル②をシャワー側（左）に回します。
7. シャワーエルボの逆止弁開放ボタン⑤を押します。
8. シャワーヘッド⑥を振って水をよく切り、床に置きます。

※再通水するときは、その前に必ず水抜き栓①③を閉めてください。



故障かな？と思ったら

部位	現象	原因
水栓	水の勢いが弱い	ストレーナーが目詰まりしている。
		給湯の能力が不足している。
	湯温が上がらないまたは変動する	給湯器の設定温度が低い。
		給湯器の適水量が少なくて点火しにくい。
		給湯の能力が不足している。
		ストレーナーが目詰まりしている。
		サーモスタット水栓の温度調整がズレている。
白熱灯	白熱灯が点灯しない。	電球がソケットにしっかりとはまっていない。
		電球の寿命が切れている。
排水口	流したお湯がなかなか排水されない。	床排水トラップまたはストレーナーが目詰まりしている。

確認方法・対応方法	参照頁
ストレーナーの掃除をします。	22
浴室以外でできるだけ同時に湯を使わないようにします。	
給湯器の設定温度を上げます。	
給湯器の設定温度を下げ、適水量を多くする。(給湯器の取扱説明書をご覧ください)	
浴室以外でできるだけ湯を使わないようにします。	
ストレーナーの掃除をします。	22
温度調節ハンドルを設定しなおします。(水栓の取扱説明書をご覧ください。)	
電球をソケットに確実にはめます。	26
電球を交換します。	26
床排水トラップまたはストレーナーの掃除をします。	23

左記の対応をしても直らないときは修理を依頼してください。

アフターサービスについて

■修理を依頼される前に

商品が故障したら「故障かなと思ったら」（29ページ）を参照してください。
それでも故障が直らない場合は、お求めの販売店またはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
なお、不具合でなくても下記の場合はご相談ください。

●取扱説明書どおりに使用されても、まだ不明な点がある場合

上記の場合、そのままにしておくと思わぬ事故につながるおそれがあります。必ずご相談ください。

⚠ 警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※発火したり、異常作動してケガをすることがあります。

■保証と保証期間について

「優良住宅部品（ベターリビング商品）保証書」（36ページ）を参照してください。

■修理を依頼されるとき

修理を依頼されるときは再度本書をよくお読みいただき、ご確認のうえなお異常のあるときはお買い求めの販売店に修理を依頼してください。

保証期間中の修理

保証期間内は保証の規定にしたがって修理させていただきます。

保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望によって修理いたします。
料金の内訳は、技術料+出張料+部品代です。

連絡していただきたい内容

1.おなまえ･おところ･電話番号
2.商品名･品番←P.34の「品番を調べる」参照
3.取付年月日
4.故障内容･異常の状況（できるだけ詳しく）←P.29の「故障かな？と思ったら」参照
5.訪問ご希望日

修理の依頼先・アフターサービスについてのお問い合わせ先

修理のご依頼は（取扱説明書の「アフターサービスについて」をお読みください。）
LIXIL修理受付センター
TEL 0120-179-411
FAX 0120-179-456
受付時間　9：00～20：00（365日受付）

■部品の保有期間について

補修用性能部品の最低保有期間は、10年です。保有期間経過後の修理では、部品がない場合がありますのでご了承願います。
※補修性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■定期点検のオススメ（有料）

有料となりますが、次のような場合は定期的に点検を受けていただくことをおすすめします。

●ご使用上支障がなくても長くお使いいただくため、お買上げより2年たったもの

●温泉地域および海岸付近など、特に腐食をおこしやすいところで使用されるもの

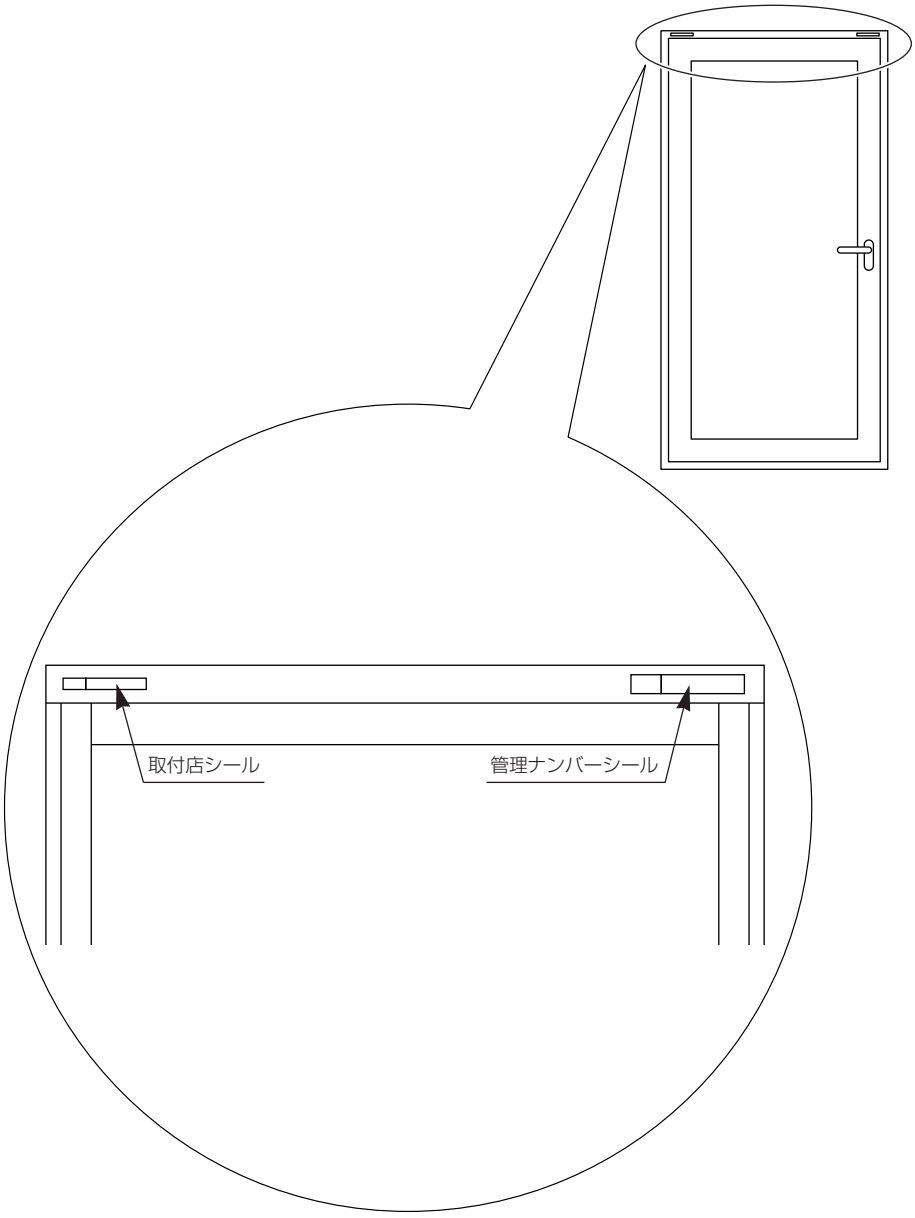
定期点検については、LIXIL修理受付センターまでご相談ください。

点検料金の内訳は、点検料（技術料）+出張料+部品代（交換した場合）です。

品番を調べる

■ドアに貼ってあるシールを見る

浴室内ドア左側上部に貼ってある管理ナンバーシールで品番をご確認ください。



廃棄について

■廃棄について

イデアトーン、エセンヌ、FRP浴槽を廃棄処分される場合は、許可を受けている処理業者に処理を依頼してください。
詳しくは、お求めの販売店にご相談ください。

優良住宅部品（ベターリビング商品）保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの取扱店に修理をご依頼ください。

※ 取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名	ユニットバスルーム（BYシリーズ　BPシリーズ）		
保証期間	据付引渡日より 2ヶ年 ただし防水性能＊、浴槽の貯水性能は据付引渡日から 5ヶ年	据付引渡日	年　月　日

＊防水性能とは「壁、床から浴室外部への漏水を防ぐ性能」をいいます。

無効

お客さま	おなまえ　　様	取扱店名
	おところ	
	おでんわ （　　）　　－	TEL （　　）　　－

お客さまへ

・ 保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。
・ お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

無料修理規定（保証規定）

1．「取扱説明書」・「ラベル」等の注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
2．無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
3．ご転居等で、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
4．保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。（免責事項）
(1) 用途以外（車両、船舶および使用頻度が極度に高い業務用等）に使用した場合の故障および損傷等の不具合。
(2) 指定業者や施工説明書等に基づかない施工および工事に起因する不具合。
(3) お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障および損傷等の不具合。
(4) 専門業者以外による移動・修理・分解等に起因する不具合。
(5) 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）等製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合。
(6) 経年変化使用に伴う外観上の現象（塗装の色あせ、もらい錆等）または使用に伴う消耗部品の摩耗等により生じる不具合。
(7) 海岸付近、温泉地等の地域における腐食性の空気環境および公害環境（煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガス等各種ガス）に起因する不具合
(8) 小動物（犬、猫、ねずみ、昆虫等）の行為または蔓（つる）や根等の植物の害に起因する不具合。
(9) 天災地変（火災、爆発等事故、落雷、地震・噴火・風水害・津波、地盤沈下、凍結、雪害等）に起因する不具合による故障および損傷。
(10) 戦争・暴動等破壊行為または犯罪等の不法行為に起因する破損や不具合。
(11) 自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かび等の現象。
(12) 消耗品（パッキン）類、配管中の異物の詰まり等による故障および損傷。
(13) 水道水以外を給水したことに起因する故障および損傷不具合。（水道水とは水道事業体が供給する上水をいう。）
(14) 寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障および損傷。
(15) 給水・給湯配管のサビ、砂やゴミ等の異物の配管内流入および水アカ固着に起因する不具合。
(16) ガス・電気・給水等の供給で指定された以外の環境（異常ガス圧、異常電源・電圧・周波数、異常電磁波、異常水圧・水質、音、振動等）に起因する故障および損傷等の不具合。
(17) 指定規格以外のガス・電気・燃料等を使用したことに起因する不具合。
(18) 熱量変更等に伴う調整等。
(19) 樹脂、金属に対して影響を与える洗剤、薬剤を使用したことに起因する不具合。
(20) 保証書の期限切れまたは提示がない場合。
(21) 本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き換えられた場合。
(22) 建物完成後、入居までの間の管理等の不備によるもの。
5．本書は日本国内においてのみ有効です。
6．本書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等、ご不明な場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
7．修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後10ヶ年です。

使い方・お手入れ方法等、商品のお問い合わせはお客さま相談センターへ
TEL 0120-179-400　FAX 0120-179-430
受付時間：平日　9：00～18：00
土日・祝日 9：00～17：00
（ゴールデンウィーク、夏期・年末年始の休みは除く）

修理のご依頼はLIXIL修理受付センターへ
TEL 0120-179-411　FAX 0120-179-456
受付時間：9：00～20：00
（365日受付）

株式会社 LIXIL

ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/

株式会社 LIXIL

使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問い合わせは、お客さま相談センターへ

TEL 0120-179-400
FAX 0120-179-430

受付時間　平日　　9：00～18：00
　　土日・祝日　　9：00～17：00
　　（ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く）

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP電話等ではご利用になれない場合がございます。
下記番号をご利用ください。
TEL.0562-40-4050　FAX.0562-40-4053

修理のご依頼は（取扱説明書の「アフターサービスについて」をお読みください。）

お求めの販売店または
LIXIL修理受付センター

TEL 0120-179-411
FAX 0120-179-456

受付時間　9：00～20：00（365日受付）

●当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスなど、当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

インターネット・ホームページ・アドレス　http://www.lixil.co.jp/

取扱店

GPU-0109(13033)

プラ　袋:PE
　　ヒモ:PVC